

# epoch

エポック No99

～ 千代田区生涯学習推進委員会議だより ～

平成29(2017)年2月 発行



## 第11期 第4回会議 概要報告

平成28年11月25日(金)、第4回千代田区生涯学習推進委員会議が開催されました。今回は、10月5日(水)に開催した「ちよだ生涯学習カレッジ」入学式および第3回目までの授業内容の報告、そして前回の会議に引き続き、認定「学びと地域のコーディネーター」の展望(活動の可能性)について事務局から3つの案を提示し、委員の方からご意見・ご質問を頂いたうえで具体的な検討を行いました。以下、会議の概要を報告いたします。

### 「ちよだ生涯学習カレッジ」入学式開催と第3回目までの授業の報告

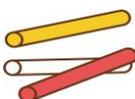
回	入学式	第1回授業	第2回授業	第3回授業
日付	10/5	10/19	11/2	11/16
出席	33	33	31	30
忌引	0	0	1	1
欠席	2	2	3	4



★授業風景(第1回授業)★

#### ～事務局からの報告～

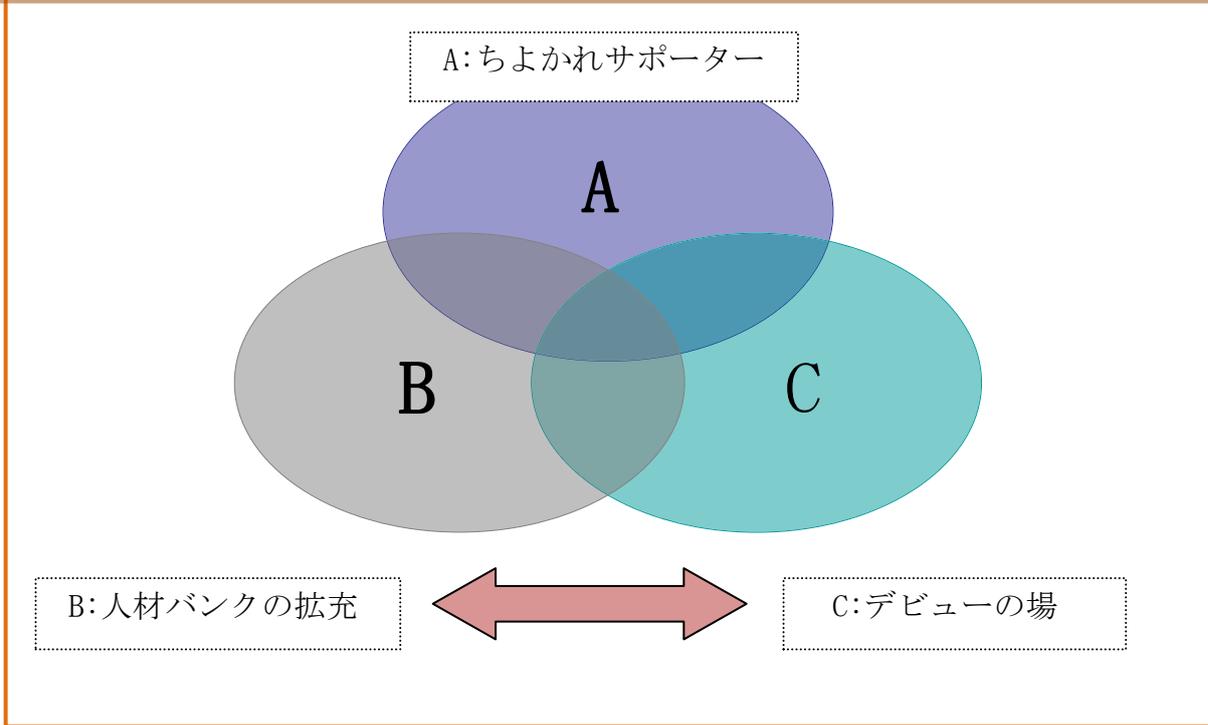
- 入学式は参加必須では無かったものの、学生35名のうち33名が出席し、開催した。
- 第1回目の授業は、「私、私の生き方」をテーマにし、自分のライフキャリアを振り返りつつ、今後の地域社会との関わり方を考えるものであった。
- 学生 of 皆さんはほぼ現役世代で、仕事後に授業に出席されている。
- 第2回目の授業は、「魅力的なコミュニティにはコーディネーター的存在がいる」ということについて、まちづくりや建築に関わる講師の観点からの講義であった。
- 授業はまだ序盤戦であるが、学生の皆さんはとても熱心に受講している。授業後に、「学びのフィードバック」という簡単な授業での感想や気づきなどを書いて頂いているが、そこには「要望、改善点」を始めとした具体的提案もあり、当カレッジへ積極的に関わる姿勢が感じられる。
- 第3回目の授業では、グループワークで、自己紹介のほか、今後、施設見学や講座見学でどういったことに取り組みたいかなどを話し合った。



「学びと地域のコーディネーター」卒業後の展望(活動の可能性)について

第1期生の卒業後における、学習成果を地域で生かすためのしくみづくりの検討を進めるため、前回会議に引き続き、下記のとおり事務局より3つの(案)の提示を行いました。  
今回は委員の方々より実際にご意見等を頂戴し、更に検討を進めました。

「ちよだ生涯学習カレッジ」がサポートする  
認定「学びと地域のコーディネーター」の展望(活動の可能性)～事務局より3つの案～



～A ちよかれサポーターとは～

「ちよだ生涯学習カレッジ」において、クラスチューター的存在として在校生サポートを行う。カレッジの各種イベント(オープンカレッジなど)にファシリテーター的役割として参加する。

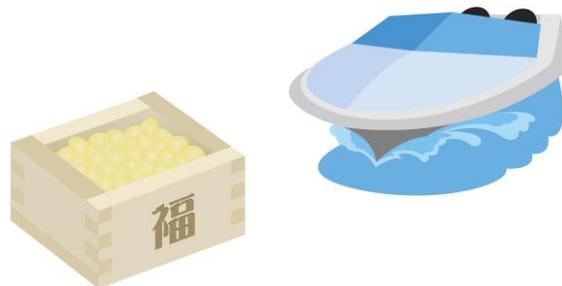


～B 人材バンクの拡充とは～

既存の人材バンクを見直し、拡充する。生涯学習講師のみの登録・紹介制度ではなく、「学びと地域のコーディネーター」としての登録や紹介ができるようにする。

～C デビューの場とは～

A, Bと比較して理解・調整に時間を要することが想定されるが、認定「学びと地域のコーディネーター」としてデビューし、地域などで活躍する場を関係機関と連携・協力のうえ、設けていく。



## 質疑応答・自由意見など

○海外からもインターネットで様々なことを調べて旅行に来る方が多く存在するようであるが、そういった方へ発信できるような情報センターのようなものを作り、外に向けて情報発信が出来る場所があると非常に喜ばれ、良いのではないかと。⇒推進委員会議でも話題に出ているが、2コース目を「観光ボランティア」のようなコースにするという選択肢もある。区内でのそういった外国からのお客様も含めた観光の観点での情報発信、拠点作りのようなものも視野に入れている。



○私が住んでいるのはマンションなので、町会との関わりというのは薄いと思う。私が近くで見ている、「あちらの町会は凄く活動的で良いことをしているのだな」と思ったことがあり、古くからの住民が活動している町会と、マンション居住者を多く抱えている町会には地域への関わり方の差がある気がする。その間にコーディネーターが入って下さったら凄く良いと思う。

⇒長年住んでいらっしゃる方、新しいファミリー層も含めて住民の方が増えてくると新たなコミュニティを当然作り上げていく必要がある。また、マンション住民が既存の自治組織等にどう参画していくかというのは大きな課題である。



○(在住者のみならず)在勤、在学者の観点からも考えて頂けると有難い。私立の生徒のなかには、屋間はずっと区内に居るものの、千代田区のことをさほど知らない者も居る。よって、コーディネーターの方に学校に来てもらい、(千代田区のことについて)話しをして頂くなど、そういったチャンスがあれば有難い。



○高齢者や障がいのある方などが身近な場所で交流できる「ふれあいサロン」が区内に何カ所か存在したり、ボランティアグループの方が食事会を開いたりしている。コーディネーターがそういった場所を見学して情報を集め、学びや特技を活かしてボランティアしたい方とのつなぎをしていただくと良いと思う。



○区内機関が地域活動などを収録した冊子を私も読むが、もっと様々なところへアピールするとともに、区民等の学習希望に応じて、団体や人材を紹介できる旨の周知も冊子に入れて頂けたらと思う。

⇒「見える化」という言葉をよく耳にするように、カレッジの内容や学習成果をどのように生かせるのか、それをどう「見える化」して周知していくか、そこが一つの核心だと思う。カレッジがこれから発展していくうえで事務局も工夫を凝らしてご提案していきたい。



○町会の方が密接に参加し行事を行っている学校があり、それらの学校には人手が足りないところも存在する。そういった学校行事にうまく卒業生が入っていけると、地域の方とも知り合いになり、町会に少しずつ入り易くなると思う。





## 「生涯学習とボランティア」

武藤 祐子

いよいよ、「ちよだ生涯学習カレッジ」がスタートしました。生涯学習推進委員会議でこの名称に決まった時には、私自身もワクワクした気持ちになりました。生涯学習を身近に感じてもらい、より多くの方々に千代田区のことを学んでほしいとの思いが詰まった名称です。

どんな方が受講されるのだろうか？と入学式を見学。そこには長年ボランティア活動をされている方、今年度からボランティアグループでの活動をスタートしたばかりの区民の方など、日頃からボランティア活動に熱心に取り組む方々も受講されていました。

また、そこに参加されていた受講生が、後日ボランティアセンター主催のコミュニティとのつながり方を話し合うトークイベントにも参加され、あらためて生涯学習とボランティアの重なりや関わりの深さを実感しました。

学びたい人には生涯学習の場があり、学んだことをボランティアとして実践したい方はボランティアセンターに相談できる。その時の状況でどちらかを選んだり、どちらも実行する。生涯学習とボランティア活動を自由に行き来でき、多くの方が地域で活躍できるサポートが充実するよう協力し合いたいと思います。



## 編集後記(事務局より)

今回のエポックは、第4回会議についてお届けいたしました。お忙しい中、リレー随筆をお引き受けくださいました武藤委員と安田委員に心からお礼申し上げます。次号エポックもよろしく願いいたします。

## 「積み重ねるということ」

安田 郁子

『ちよだの杜少年少女合唱団』は千代田区文化芸術協会の会員がつくった千代田区に集う子ども達のための合唱団です。12年ほど前に創団し130名を超える子ども達がこの合唱団を経験しています。多くの合唱団が年齢でクラスを分けていますが、ちよだの杜は全年齢の子ども達が同じ練習をしています。

ちよだの杜、は徹底的に子ども主義です。これは、子どものためなら、かなり面倒くさいことでもやっつけてしまおうということです。例えば、楽譜。小さい子には、イラスト付きひらがなの歌詞カードを。合唱譜を読み慣れていない団員には、パート譜を用意。市販の楽譜には、そんなサービスはないので、全部手づくりです。そして、練習は、厳しいが面白い。「楽しくなくちゃ合唱じゃない！」がモットーです。練習曲は、団員に合わせ選曲をします。おかげで、レパートリーは、唱歌・童謡からアニメ、Pops系、現代合唱曲、英語の他、独伊仏語にラテン語まで幅広く、同じ曲でも、団員構成が変わるとアレンジを変えます。

こんな中で、小学校を卒業し、上の学校に進学した子たちは、自分の学校の合唱コンクールの時、クラスで「合唱とは！」と説くそうです。そして「優勝したよ！」と報告が。長く在籍している団員は、歌うことに関して自信にあふれています。一つのことを長く楽しくやり続け、積み重ねた結果に、このような素晴らしい子ども達が生まれたことを、私達ちよだの杜のスタッフは誇りに思っています。

## ～編集・発行～

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課  
〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1  
TEL: 03-5211-3632  
FAX: 03-3264-1466  
Email: shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp